

提案

「優れた記者を皆で育ててほしい」

- ◆ 新聞(社)の改革を当てにしないで。
- ◆ 官庁、大学などが中心になって、勉強する意欲がありそうな若手の記者を数人集めて長期継続の勉強会を組織する。
- ◆ 環境関連のさまざまな専門家が講師になり、理系の基礎学力・知識が不十分な記者でも理解できるようにレクチャーを。社会的な広がりのある文脈の中でとらえるようなレクチャーも必要。虫の眼と鳥の眼を。
- ◆ 研究者、学者が遠慮なくはっきりと批判し合うようになって、論点を明確にしてほしい。それが記者の問題意識を鮮明にするし、その結果、国民にも何が問題かがはっきりと伝わる。